

<特集2>

就労継続支援B型

(ももち福祉プラザ・受注班)

ももち福祉プラザの就労継続支援B型では、住み慣れた地域から通い、仕事をしながら「自分で生活すること」を目指して活動しています。その作業班のひとつ『受注班』では、利用者個々の特性を活かした作業に取り組み、一人一人が自分の持ち場に責任をもって、次の工程へとつなげています。

箱折り作業の紹介

『受注班』ではいくつかの作業を行っています。その一つが「箱折り作業」です。企業からの依頼を受け、材料をお預かりし、箱を組み立てて納品します。

① 折り目をつける担当

組み立てやすくするために折り目をつけます。実線を山折り、点線を谷折りにしていきます。



② 組み立て担当

面と面を組み合わせて箱の形を作っていきます。



③ ふた作り担当

“ふた”の部分を作っています。細かい部分があり、難易度が高めの工程となっています。



ベテランの方は、慣れた様子で次々と作っていきます。

④ 検査担当

箱に傷はないか、出荷できない状態のものはないか等を一つずつ丁寧にチェックしていきます。



ひとつ
ひとつ
丁寧に！

検査終了。
たくさんできあがりました！



検査が終わったら
段ボールに詰めて
いきます。

納品準備
完了！

